



チャチャ通信

令和4年8月30日
子育て支援センター発行

9月の事業予定

※事業については講師との日程を調整しながら、他の事業についても状況を整えています。予定が決まった時には告知端末機で、お知らせしますので、確認してください。広報9月号のご案内とは予定が異なりますこと、ご了承ください。



町内の感染症拡大を受けまして、チャチャ室の利用の停止により、利用者の皆様にはご不便をおかけしています。現在、町内における感染が減少してきたことで、9/5より利用を再開できるように準備をしています。安心して利用頂けますよう、基本的な感染症対策にご協力下さい。

おしらせ



- チャチャ室の利用停止期間でも、電話相談はお受けしています。一時預かり保育事業もご利用頂けます。感染の状況等により、お預かりできない場合もありますので、ご理解下さい。
- チャチャ室の利用再開後は、遠方（海外や道外）への往来があった場合、（同居する家族を含めて）帰宅後から7日間、自宅での体調管理にご協力ください。遠方に限らず、道内の感染状況としては横ばい状態です。外出後、感染に不安を感じる場合は、同様に、自宅で体調に変化がないか様子を見てください。
- 発熱、咳が出ている、いつもに比べて食欲がない等の症状が見られる場合や、利用をお控えください。利用にあたり疑問や不安に思うことがありましたら、利用する前に電話連絡をお願いします。体調不良での薬の服用については、場合によりご利用をお断りすることもあります。

子育て支援センター（こども園内 5-1254）

★ちょこっとまめ知識★

今夏、様々なメディアで全国的な手足口病の流行が報道されています。他にも、アデノウィルスや、溶連菌感染症など、発熱や発疹等を伴う感染症の症例も聞こえてきています。新型コロナウイルス感染症の拡大もあり、お子さんが体調不良のとき、どのタイミングで通院するか悩まれる方もいるかと思えます。あくまで目安ですが、以下のような場合には通院するほうが安心と言われています。

- 生後3か月未満の赤ちゃん**：状態が急変することがあるので、38度以上発熱がある時には、発熱外来にはすぐに問い合わせ、医療機関へ。
- 生後3か月以上の赤ちゃん～幼児**：発熱のみで「機嫌が良い」「水分補給ができる」「食事ができる」場合は1日程度様子を見てもよい。他の症状がある時には医療機関へ。いずれにも当てはまらないけど、「何かいつもと違う。体調が悪そう」と、保護者の方が感じる時にも、一度通院して、不安なく過ごすことも大切です。発熱後すぐに解熱し、他の症状がなく、元気な場合でも、最低24時間以上は自宅で体調観察をする方が安心です。コロナだけでなく**どの感染症の予防にも、こまめな手洗い・換気は有効**、と言われています。

病名は聞いたことはあるけれど、症状がなんとなくわからないという方もいるかもしれません。

手足口病の症状を以下に、簡単にまとめています。

※**手足口病とは**…手のひら、足の裏、口の中に小さな水疱ができる病気です。乳幼児の場合は、手のひらなどになくてもお尻やひざ、腕等全身に水疱ができることもあります。発疹は痛みもかゆみもありませんが、口の中の水疱がつぶれると痛み、飲食が進まない場合も多いです。感染力が強く、感染期間も1か月と長め。発熱は37℃から38℃程度。

【メイト 榎田洋一・編著 こどもの病気+ケガガイドブックより引用】



今年のお月見は

9/10です!

日本の伝統行事のひとつ「お月見」は、一年の中で最も空が澄みわたった季節に美しい月を眺める行事です。すすき・月見団子・収穫されたばかりの芋類をお供えます。収穫に感謝する意味も込められていて、月見団子の数は15個と決まっています。ご家族で、夜空を眺めてみてはいかがでしょうか？

